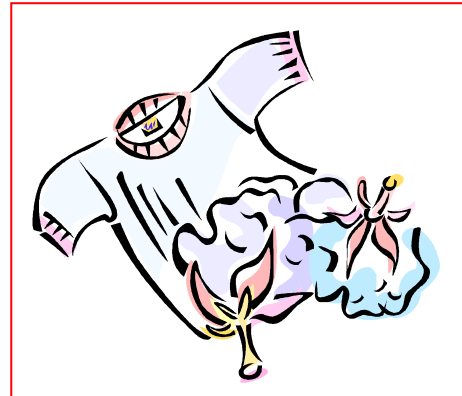


# ロハスとエコの違い

～ 無理はせず、地球環境に配慮するロハス ～

日本では、2005年に女性誌やテレビなどでロハス特集が組まれるようになり、「ロハス」という言葉の認知度が急上昇しました。

農薬を使わないオーガニック(有機栽培)のコットン为原料とした服を買う。大気を汚すガソリン車よりもハイブリッド車を選択する。西洋医学一辺倒ではなく各国で伝承された民間療法も取り入れていく。そのような消費行動がロハスとして広がってきました。

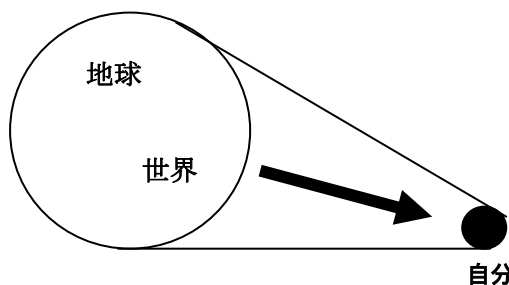


地球環境に配慮するロハスですが、それはエコの考え方とどう違うのでしょうか？

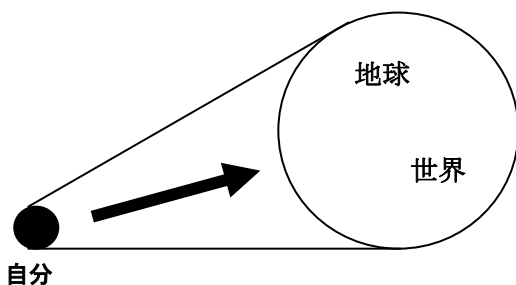
最も大きな違いは、視点の置きどころです。「地球環境は今や温暖化やオゾン層破壊の問題で危機的な状態にある。だから私たち消費者はなるべくものを買わないようにしましょう。仕方なく買うのなら、せめて3R(リデュース、リユース、リサイクル)の製品を選ぼう」というのがエコの考え方であり、地球から人間をとらえる視点です。

一方、ロハスは、もっと利己主義的で、自分から発想し考えていくスタイルをとります。「現代社会で暮らす以上、どんな人でも必ず消費はするものだから、頭からそれを否定はしない。ただ、安易に流行に流されるのではなく、ちょっとしたこだわりを持って買おう。自分や家族の健康を第一に考えて、どんな企業がどんな方法で製品を作っているのかを気にしよう」という考え方であり、消費行動にこだわりを持ちながら地球環境をとらえる視点です。

【エコの視点…地球から自分が見られる】



【ロハスの視点…自分の目から地球を見る】



心身の健康に気を配ろうとすると、その地点だけにとどまっていたのでは解決を得られないから必然的に自然環境や社会問題に意識を向けざるを得ない。自分の健康の延長線上の同じ地平に、自然や社会、地球の健康がつながっている、それがロハスです。